

太陽のとどこぬ世界（1964）

WORLD WITHOUT SUN
LE MONDE SANS SOLEIL

メディア 映画
ジャンル ドキュメンタリー
製作国 フランス／イタリア
色彩 Color
時間 93分
初公開日 1965/06/25
公開情報 C O L
リバイバル 1972/03 [C O L]

【キャッチコピー】

海底探険30日間！海に残された人類の夢を実現！ 深海にステーションを建設し知られざる海のすべてを記録！（リバイバル時）

【解説】

海洋学者、海洋生物学者として有名なクストー博士が紅海に海底ステーションを建設し、人間が海底で生活する実験に取り組んだその模様を撮影したドキュメンタリー映画。クストー博士自身、海面下10メートルの海底村で生活し、また、二人の研究員が海面下26メートルの実験キャビンで一週間生活する実験も敢行。海底村では海草落としが毎朝の行事で、海上のカリプソ号からは酸素や食料が定期的に運ばれる。一方、実験キャビンではイワシの缶詰を食べて生活、気圧のせいで声は甲高くなり外傷は一晩で治ってしまう。クライマックスは、海底円盤と呼ばれる深海艇による海中探索。304メートルまで潜水し、カニの大群など神秘的な風景のほか、上部に空気が溜まっている海底洞窟の模様などを映し出している。

【クレジット】

監督	ジャック＝イヴ・クストー	Jacques-Yves Cousteau
製作	ジャック・モージェ	Jacques Mauger
	ジャック＝イヴ・クストー	Jacques-Yves Cousteau
撮影	ピエール・グーピル	Pierre Goupil
音楽	セルジュ・ボド	Serge Baudo